


(取組の概要)

- | | | |
|-------------------|---|---|
| 1 背景・ねらい | 中学生を対象に、自主的な学習習慣と基礎的な学力を身に付ける支援を目的とした「地域未来塾」を開設した。 |  |
| 2 対象校・対象者 | 市内全4中学校に通う生徒全員が対象 | |
| 3 実施教科 | 夏休み、冬休み：理科と自習
テスト期間：自習 | |
| 4 実施場所 | 常滑市役所 | |
| 5 実施の形態 | ○授業形式(理科)
教員OBや、学習塾で指導経験のある地域住民が、理科に苦手意識をもっている生徒に対して、授業を行い、苦手克服を図った。
新型コロナウイルスの5類移行に伴い、ゲームやディスカッション形式を取り入れるなど、生徒が主体性をもって授業に取り組めるような試みを行った。
○自習形式
生徒が教材を持ち込み、わからないところがあれば学習支援員に質問する。 | |
| 6 実施日・回数 | ○夏休み：10日 | 9:00～17:00 |
| 実施時間帯 | ○冬休み：5日 | 8:30～16:30 |
| | ○テスト期間：テスト週間中の土日 | 13:00～17:00 |
| 7 登録人数 | 夏休み:75人 冬休み:37人 テスト期間:事前登録なし | |
| 8 参加人数(平均) | 夏休み:19人 冬休み:11人 テスト期間:18人 | |
| 9 コーディネーター等の取組の様子 | コーディネーターは職員が務め、学習支援員や参加者の募集、実施場所の確保などを行っている。開催にあたって各教室の運営は学習支援員が行い、会場設営から片付けまでを全て学習支援員が行っている。 | |

(取組の結果・効果)

- 令和4年度より授業形式と自習形式の並行実施を行っている。授業の復習を自習室で行えるなど、勉強するにあたり非常に快適な場の提供ができた。
- 授業形式ではただ話を聞くだけではなく、自ら考え、皆で話し合う時間を多く設けたところ、「家で一人で勉強するより集中できた」、「今まで分からなくて苦手な分野が得意になった」と、好評な意見が多かった。